

■dspicguy.exeを使用しないユーザープログラムのダウンロード方法

8月号記事では付録基板へのユーザープログラムのダウンロードには付録CD-ROM収録のdspicguy.exeを用いています。dspicguy.exeはDelphi3で作成したのですが、実行環境の相違等により正常に動作しない場合は、dspicguy.exeを使用せずにコマンドライン（コマンド・プロンプト、DOS窓）からの操作でユーザープログラムのダウンロードが可能です。

●コマンドラインでのユーザープログラムのダウンロード方法（その1）

dspicguy.exeは使用しませんが、hexconv.comとloadspic.exeを用います。（いずれも付録CD-ROMに収録）実行時にカレント・ディレクトリにhexconv.com, loadspic.exeをコピーしておくか、hexconv.comとloadspic.exeのあるディレクトリにパスを通しておいてください。（詳細はWindowsのコマンドラインやMS-DOS, バッチプログラムについての書籍・資料を参照して下さい）

1. Windowsのスタートメニューより『スタート』→『アクセサリ』→『コマンドプロンプト』でDOS窓を開く。（Windows XPの場合）
2. DOS窓より下記のように入力してhexconv.comを使ったhexファイルの変換作業をおこないます。下記の入力例では、ユーザープログラムのhexファイル名をuser.hex, 作業用の一時ファイル名をtmp.txtとしています。

```
hexconv < user.hex > tmp.txt
```

3. 次に下記のようにloadspic.exeを使って変換後のプログラムtmp.txtをダウンロードする。以下の入力例ではダウンロードするシリアルポート（RS-232Cポート, COMポート）にはCOM4を使っています。

```
loadspic -c4 < tmp.txt
```

なお、以下のように /? オプションを使って hexconv.com, loadspic.exe の使用方法のヘルプを表示出来ます。

```
hexconv /?  
loadspic /?
```

●コマンドラインでのユーザープログラムのダウンロード方法（その2）

hexconv.com（付録CD-ROMに収録）のみを用いてもダウンロードが可能です。

実行時にカレント・ディレクトリにhexconv.comをコピーしておくか、hexconv.comのあるディレクトリにパスを通しておいてください。（詳細はWindowsのコマンドラインやMS-DOS、バッチプログラムについての資料を参照して下さい）

1. Windowsのスタートメニューより『スタート』→『アクセサリ』→『コマンドプロンプト』でDOS窓を開く。（Windows XPの場合）
2. DOS窓より下記のように入力してhexconv.comを使ったhexファイルの変換作業をおこないます。下記の入力例では、ユーザープログラムのhexファイル名をuser.hex、作業用の一時ファイル名をtmp.txtとしています。

```
hexconv -a < user.hex > tmp.txt
```

3. 次に下記のようにmodeコマンドを入力する。以下の入力例ではダウンロードするシリアルポート（RS-232Cポート、COMポート）にはCOM4を使っています。

```
mode com4 baud=19200 parity=n data=8 stop=1
```

4. 次にtypeコマンドを使って変換後のプログラム（tmp.txt）を付録基板へダウンロードする。パソコンの画面上で処理状況を確認できないので、付録基板のLEDの点灯パターンを見てダウンロードの進行状況・書込結果をチェックしてください。以下の入力例ではCOM4を使っています。

```
type tmp.txt > com4
```